

FliClip 株式会社 フリップ・クリップ

マルチデバイス、マルチアクセスなWeb 2.0 動画共有サービス

— ユーザ数とともに加速的に増大するデータを安全に管理



「株式会社 フリップ・クリップ」サイト

アプリケーション

コンシューマー向け動画共有サービス「FlipClip」を運用するためのクラスタストレージ

課題

フリップ・クリップでは、動画共有サービスのユーザ数が急拡大するなかで、飛躍的に増えるデータ容量への対応が課題になっていました。従来はハードディスクを随時追加していましたが、管理・運用の手間が増え、将来的な拡張への対応にも懸念が残り、新しいストレージシステムの導入を検討していました。

Isilon IQ のメリット

フリップ・クリップでは、幅広い製品を検討した結果、以下のようない理由からIsilon IQの導入を決定しました。

- クラスタストレージシステムによる単一ファイルシステムイメージの提供
- データの安全性が重視される事例での多くの実績
- 容易なストレージの管理
- NFSで高可用性を実現したSmartConnectアプリケーション
- ノードを追加するだけで容量拡張に対応

「誰でも簡単に」で幅広いユーザに人気の画期的なWeb2.0動画共有サービス

昨今ネット上で大きな盛り上がりを見せているWeb2.0動画共有サービス。株式会社 フリップ・クリップ（以下、フリップ・クリップ）もWeb2.0動画共有サービスを提供する会社の一つです。同社が運営するサイト「FlipClip」の特徴は、ユーザを問わず誰でも簡単に動画の取り扱いや視聴が可能なことです。フリップ・クリップ開発部の堀内氏にサービス内容を伺いました。

「FlipClipでは、avi、mpg、movなど各種ファイルフォーマットに対応し、サイト上から簡単にアップロードできるのはもちろん、ケータイの動画をメールで送信するだけで動画クリップを作成することができます。サイト上ではそれを視聴するだけでなく、コメントを付けることなどもでき、コミュニティサイトとしての楽しさを提供しています。また、アップした動画をホームページやブログに簡単に掲載できる機能も搭載。Webカメラで撮影した動画をホームページで配信することも可能です。さらに、PCだけでなく、ケータイやiPodにデータを落として動画を見ることもできるなど、デバイスを意識することなく動画の投稿・閲覧を楽しめるのも大きな特徴です。製品キャンペーンのためのプロモーションサイトを構築したり、ASPとして他社サイトに基本機能を提供するなど、ビジネス向けサービスも展開しています」

FlipClipがスタートしたのは2005年。ブロードバンドを利用した製品・ソリューションを提供する株式会社 ブイキューブが、オープンソースソフトウェアなどの既存の変換技術を組みあわせ、様々なフォーマットの動画を変換可能な独自の変換システムを構築し、それを活かしたコンシューマ向けサービスとしてサイトをオープン。その後、グラフィックデザイン会社の株式会社 アトムとともに、共同事業として株式会社 フリップ・クリップを設立、2005年3月より本格的なサービスを開始しました。設立当初、1万人に満たなかったユーザ数はあっという間に増え、2007年2月現在には3万人を突破しました。



株式会社 フリップ・クリップ
開発部 部長
堀内 康弘 氏



株式会社 アトム
開発部 チーフ・アーキテクト
松本 英夫 氏

幅広い製品を検討した中で、コスト、信頼性、機能でIsilon IQに決定

ユーザ数の拡大とともに、当然ながら取り扱うデータ容量も膨大なものになってきました。ユーザが無料でアップロードできるデータ容量は1カ月に付き100MBまで。保存容量は無制限です。FlipClipではユーザがアップロードしたデータを、Flash形式だけではなく、ケータイ向け、iPod向けに変換して蓄積しています。ユーザ数の拡大につれて取り扱うデータ容量も増え続け、インフラ運用も負担が大きくなっていました。システム構築を担当したアトム開発部の松本氏は語ります。

「サイトスタート時はハードディスク1台から始め、徐々に横並び式に増設していきました。管理の際は1台1台を見なければならず、非常に手間がかかっていました。全てのハードディスクがほぼフル活用の状態で、単一障害点をゼロにすることはできず、障害があればサービスを止めざるをえない状況だったと言えます」

サービスを本格稼働した2005年3月あたりから一気にユーザ数が増え、将来的にも二次曲線的に増え続けることが予測されたため、フリップ・クリップではディスク容量不足を改善するための新しいストレージシステムを模索していました。日本製・海外製問わず多くの製品を検討。また、フリーソフトを使って管理の手間を省くシステムを構築することも検討しました。多くの製品を精査した結果、想定するコストの範囲内で、信頼性、機能の面でベストパフォーマンスと考えられたのがIsilon IQクラスターストレージでした。『NBCスポーツ』がアテネオリンピックの際に利用したという事例や、米国のコミュニティサイト『MySpace』の事例など、安全性が極めて重要になる用途での実績が多いことも後押しになり、Isilon IQ 3000を3台導入することを決定しました。

ビジネスの成長に合わせたストレージ容量の追加に対応

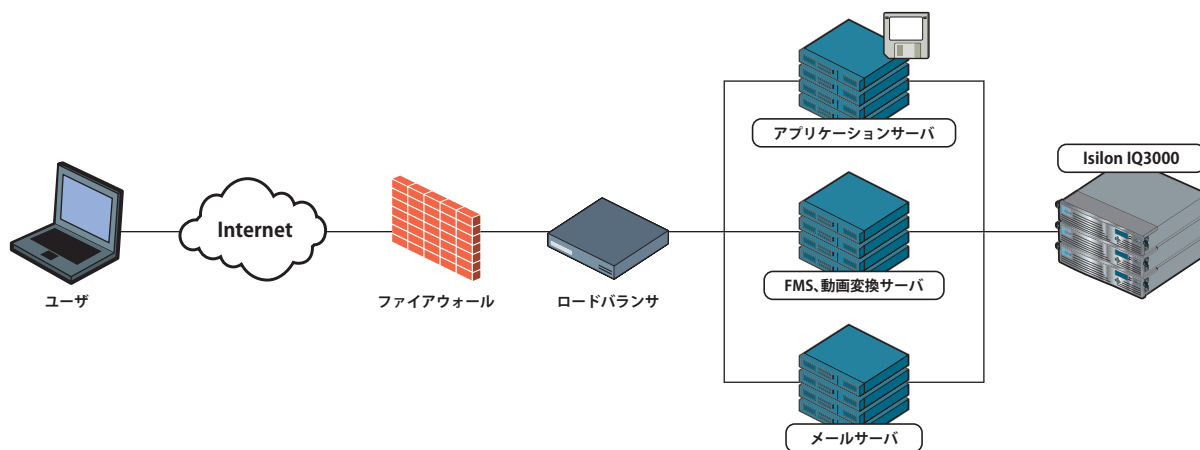
松本氏がIsilon IQに決めた大きな理由は、クラスターストレージシステムによる単一ファイルイメージの提供と、運用負荷の軽減、拡張性の高さでした。

「複数のストレージを統合管理する仕組みを開発することも考えましたが、そこに手間と時間をかけるよりは、フロントサービスの充実に力を入れたい。そう考えるとIsilon IQの機能が非常にしっくりときました。クライアント接続の負荷分散とNFSフェールオーバーを可能にするSmartConnectアプリケーションも魅力でした。これほど容易にNFSで高可用性を提供してくれるストレージサーバは他には見あたりませんでしたね。以前のシステムと比べると、運用負荷は半分以下に軽減された感覚です」(松本氏)

堀内氏も同様にIsilon IQを高く評価しています。

「現在ストレージの使用量は9TBのうち2TB弱といったところですが、今後FlipClipをビジネスとして軌道に乗せていくためには、まずはユーザ数をさらに拡大することが重要な課題です。ユーザ数を拡大する上でこれまでネックとなっていたのがストレージ容量でしたが、Isilon IQのおかげで当面は悩む必要がなくなりました。ノードを追加していけば段階的な増設に簡単に対応できます。インフラに悩まなくなった分、生命線であるサービスの充実に注力できます。今まで以上に誰でも楽しめるような機能をどんどん追加し、幅広いユーザにとって必要不可欠なコミュニティプラットフォームを目指したいですね」

増え続けるデータ容量と、それに伴う運用負荷といった懸念事項がIsilon IQによって解決されたことで、攻めのシステム構築へと転じることができたFlipClip。リッチコンテンツ時代を支える新しいメディアコミュニケーションの担い手として、これからの展開に大いに期待したいところです。



開発元



アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階
Tel : 03-5358-7188 (代表) Fax : 03-5333-4443
Email : sales-jp@isilon.com www.isilon.co.jp